

現在温度のほかにも最高時及び、最低時の温度を記録することができる温度計です。中央のボタンを押すことにより、ワンプッシュでリセットできる機構も特徴です。

■使い方

- ① 正確な温度測定のために、直射日光、温風、冷風、蒸気などがあたらない場所に設置してください。
- ② 中央の赤いボタンを押して、指示棒が左右ガラス温度計の現在温度に触れるまで下げてください。
- ③ 気温が変化すると、水銀柱が動きだします。温度が上がる場合は右側の指示棒が押し上げられます。左側の水銀柱は下がりますが、指示棒は動きません。温度が下がる場合は左側の指示棒が押し上げられます。右側の水銀柱は下がりますが、指示棒は動きません。
- ④ 向かって右側が最高温度、左側が最低温度を表示します。

ご注意

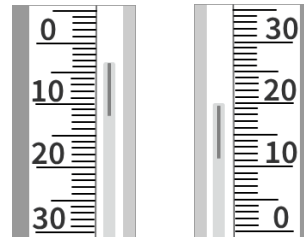
- 温度計は子供の手の届かない場所に設置してください。
- 温度計はなるべく垂直にご使用ください。
- 衝撃を与えたり、逆さにすると水銀が切れたり泡が出ることがあります（左側の【使い始めの「説明ガイド」】をご覧ください）。
- 落としたり、曲げたりショックを与えないでください。
- 感温液の成分（金属水銀）について。
 1. 目に入った場合は清水でよく洗い流してください。
※炎症が進む様であれば眼科医の手当てを受けてください。
 2. 皮膚に付いた場合は石けんを使って洗い流してください。
 3. 時計、宝飾品等に貴金属は水銀に触れますと変色しますので、ご注意ください。
 4. 飲み込んだ場合は、牛乳、卵白等を飲み医師の手当てを受けてください。

これらの作業は定期的なメンテナンスですので、この説明書はお捨てにならないでください。

■使い始めの「設定ガイド」

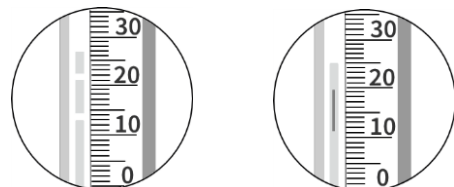
配送中の振動などによって、水銀柱や指示棒が下記①～③の状態になる場合があります。“これは故障ではありません。” 下記の手順にしたがってリセットを行ってください。

① 青の指示棒が水銀柱に入っている。

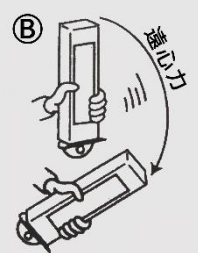


- 右側（最高）のガラス棒の場合、本体を冷蔵庫にいます。
- 左側（最低）のガラス棒の場合、下記③と同様に家庭用ドライヤーで温度計上部を温めてください。

② 水銀が切れている、指示棒が下がってこない！

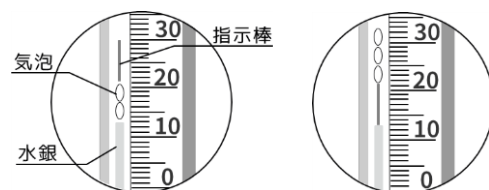


- ④ 本体を握り、もう一方の手のひらに、トントンと強めに打ちつける。
- ⑤ または、温度計の上部を握り、いきよよく上から下へ振ってください。（遠心力で水銀が下がるように、振ってください。）



※④⑤共に切れた水銀がつくまで続けてください。

③ 気泡ができています！



この方法を試す前に①、②を試してください。温度計上部を家庭用ドライヤーで、温めます。気泡が上部に達するまで続けてください。

- ※ 温度が上がりにくいようにしてください。
- 温度計に家庭用ドライヤーをあまり近づけ過ぎない様、注意してください。
- ※ やけどには十分注意してください。
- ※ 業務用ドライヤーは絶対に使わないでください。

